ICT 通信
第1号

学びWEB中東

令和５年４月２１日（金）
足立区立中川東小学校
校長　豊田　純子
ICT 担当　前田　康介

そもそも ICT 教育って？

ICT は「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略であり、日本でこれまで IT と呼ばれてきた内容とほぼ同じ意味です。ただし、IT がコンピュータなどの情報技術を指す一方で、ICT はコンピュータの活用に重点を置く言葉として使い分ける場合もあります。

身近な例では、データを集めたり、分析したり、データや分析結果を活用して機器を動作させたりするなどのことです。

ICT 教育は、教育の現場で ICT を活用することを指します。タブレット型 PC に全ての教科書やさまざまな教材をダウンロードして、いつでもどこでも教材を使えるというのが典型的なイメージかと思います。教室に設置されたテレビに画像や映像を映すことで授業を分かりやすくするという方法もあります。

ICT を活用した学校教育　～中川東小版～

現在、中川東小学校では主に３つのアプリを活用しています。

① AI ドリル
→活用することで、基礎的な知識の習得を目指しています。AI ドリルは、学習内容が教科書とリンクしており、子供たちの学習のつまずきを分析し、改善を図るプログラミングが施されています。一問一答形式であり、低学年の子供たちにとっても操作しやすいのが特長です。

② ジャムボード
→自分の考えを書いたり、整理したり、友達と考えや意見を交流する時に活用しています。一度に大人数の友達の考えや意見を見ることができるため、子供たち同士の伝え合いが活発になります。

③ YouTube 等の動画
→新聞社や工場に行き、実際に新聞やものが生産される様子を見学することが難しい（社会科）…そんな時に活用しています。他にも、動植物の成長の様子（理科）、情報モラルに関する学習（学活、道徳）時の際にも活用しています。教科書での学びと併用することで、子供たちの学習内容への理解をより深めることに繋げています。

今後は、Google スライドを使って調べたことをまとめて発表したり、動画編集を行ったりと、ICT を多様に活用できるスキルを育んでいくことも目標です。

ICT を活用した家庭学習を！

今年度は、昨年度以上に ICT を活用した家庭学習を推進していこうと考えています。調べ学習に取り組む時、何かわからない言葉や漢字があった時など、子供たちがタブレットを活用することの習慣化を図りたいと思います。そのため、今年度は中川東小学校の新ルールとして、「月～木曜日は、基本的に毎日タブレット端末を持ち帰る」を設定しました。

昨年度は、「金曜日に持ち帰り、月曜日に学校に持ってくる」というルールでしたが、今年度は「金曜日は学校に置いておく」ルールとなっています。毎週末、子供たちのタブレットを各担任が点検します。また、充電器は家庭保管となります。（年度末に回収する予定）加えて、端末システムが正常に更新されるように、タブレット端末を使い終えたら、必ずシャットダウンをしてから毎日充電するようにしてください。

＜家庭学習での ICT 活用のポイント＞

- 情報セキュリティの確保や情報モラルに留意する
- 動画などは公的機関や教育機関等が配信しているものを優先する
- Meet などのオンラインシステムも ICT 教育に活用する
  インターネットで検索すると、オンライン学習コンテンツとして漢字の書き取りや音読、算数のパズルなどを見つけられると思います。子供たちが、自分にとって必要な情報や課題解決に適切なサイト等、よく考えながら効果的に活用していけるようご家庭でもお声かけをお願いします。学校でも指導を徹底します。

子供たちが主体的に ICT を活用しています！

AIドリルで復習！

ジャムボードで学び合い！

体育の学習時も活用！

撮影動画を見て話合い！